

令和元年度研究部会合同会議

平成30年度 コミュニティサイン部会
活動報告



令和元年6月21日

H30年度の研究テーマ

サイン品質チェックリストの作成



社会全体がファシリティマネジメントの観点で動く中で、歩行者系サインについて置き去りにされていると感じる。

インバウンドを含めた観光に注目が集まる中、発注者の知見を高めることによって、サイン環境を向上させ、需要を喚起する提案を行うための資料を作成する。

H30年度の研究テーマ



研究の内容

サインに関する知見の不足 メーカーの情報提供不足



整備者や計画者にサインの素材等に関する基礎的な知見が不足しているために、デザインやコストにムリムダが生じている。

研究の趣旨

わかりやすい技術資料の提供



- 計画、設計段階の資料として
- メンバーが得意とする素材や表示（印刷）等の技術を
- 施主、設計者、メーカー相互に活用できる技術資料の提供

研究の構成

サインに関するトータルな技術資料



ガイダンス

サインの基礎的な知識 (Tips)

逆引き辞典

整備イメージを
シチュエーションから検索

素材辞典

一般的な素材や工法の解説



ネットで配信

サインの基礎知識

素材事典

逆引き事典



ネット配信イメージ



基礎知識

- サイン総論
- 材料について
- 技術資料

素材辞典

- 素材解説
- シチュエーション
- メンテナンス

逆引辞典

- 情報形態
- 設置場所

サインの基礎知識

素材事典

逆引き事典

【総論】

- サインに関する基礎用語
- 公共サイン計画
- コミュニティサインとは
- 今どきのサイン計画
- 維持管理
- 計画から設置までの工程

【材料について】

- 逆引き事典のキーワード

【技術資料など】

- 道路標識
- 雪国・塩害（環境）
- 構造
- UD（ユニバーサルデザイン）
- 文字高さ、ピクト
- 色彩について
- 稚識の水たまり

基礎
知識

【総論】

- サインに関する基礎用語
- 公共サイン計画
- コミュニティサインとは
- 今どきのサイン計画
- 維持管理
- 計画から設置までの工程
- サインの寿命

【材料について】

- 逆引き事典のキーワード

【技術資料など】

- 道路標識
- 雪国・塩害（環境）
- 構造
- UD（ユニバーサルデザイン）
- 文字高さ、ピクト
- 色彩について

■ 稚識の水たまり■ 主な材料のだいたいの単位当り重量

- 御影石ってどんな石？
- 強化ガラスと合わせガラス
- 鉄に関する用語
- けっこう出て来る記号・用語 1

■ 主な材料のだいたいの単位当り重量

● 鋼材	7850kg/m ³	● SUS	7925kg/m ³
● アルミ	2700kg/m ³	● アクリル	1200kg/m ³
● 硬質塩ビ	1400kg/m ³	● FRP	1500kg/m ³
● ガラス	2500kg/m ³	● 御影石	3000kg/m ³
● 木材（含水率15%）		● ESW	1100kg/m ³
	ヒノキ		410kg/m ³
	スギ		380kg/m ³
	カラマツ		530kg/m ³

上のタイトル通り、だいたいの重量です。何でだいたいかって言うと、まず「違うじゃね〜か」といわれてもオレは責任持たないよ！ということですよ。ハッキリ言えば逃げ道です。（あ〜卑怯さ、悪いか、エッペン！）なので、心配な人は一度自分で調べてみて下さい。違ってたら教えてプリーズ。

真面目な話しに戻しましょう。

木材なんてのは「含水率15%」って書いてある通り、水分を吸うので吸えば重くなるわけで、ちょっと調べた限りでも含水率250%なんてこともあるそうです。（いつもサインで使ってるのはそんな極端なものはないでしょうけど。）それから御影石なんかいろんな成分が混じっていて一個一個違うので、だいたいなわけです。（※他の種類の石材はこの重量じゃないです、調べてませんが・・・）更に金属系だと、例えばアル



【素材解説】

■ 特性

- 標準的な仕上げ
- 加工上の留意点
- メンテナンス

【おススメの場所・シチュエーション】

- おススメの場所・シチュエーション

【メンテナンス】

- イニシャルコスト
- 手入れ



素材辞典

	特性
スチール	安価で比較的加工しやすく、入手しやすい もっとも一般的な材料
ステンレス	腐食しにくい 見た目に美しい
アルミ押出型材	軽量で腐食しにくい 断面形状によって強度を確保する
アルミ鋳物	化粧材として使用する 軽量で腐食しにくい サインの構造部材として成立しない
石（御影石）	天然素材 サインの構造部材として成立しない 他の素材との組み合わせが多い（表示面など）
コンクリート 擬石	石材に比べて入手しやすい 品質が安定している 他の素材との組み合わせが多い（表示面など）
木材	天然素材 他の素材との組み合わせが多い（表示面など）
ガラス	構造材として使用できない 表示基板として有効（貼り替えがしやすい）
アクリル樹脂 （表示保護板）	表示の保護板として

【素材解説】

- 特性
- 標準的な仕上げ
- **加工上の留意点**
- メンテナンス

【おススメの場所・シチュエーション】

- おススメの場所・シチュエーション

【メンテナンス】

- イニシャルコスト
- 手入れ

	加工上の留意点
スチール	防錆処理の方法によって仕上がりが変わる 薄物の溶接がしにくい さび（孔・傷から） 仕上がり（溶接痕） めっきによる変形（メッキの種類？）
ステンレス	溶接痕・溶接反り 薄物の溶接がしにくい HL→沿岸部ではさびがたまる 現場加工しにくい（硬い・ボルトがかむ） B/N類スチールはさびやすい 塗装の場合下処理が大事（仕様の決定に注意が必要） 鉄道敷周辺は鉄粉の影響を受けやすい
アルミ押出型材	現地加工不可 溶接不可 型枠による成型のため形状変更が難しい ベース式の場合はサヤ管になる 断面形状はダイスによる（ほぼ変更不可） 形状変更の場合は新規ダイス
アルミ鋳物	現地加工不可 溶接不可 型枠による成型のため形状変更が難しい 強度は求めない
石（御影石）	重量 現場加工を行う可能性がある 施工者の技量による（乱張り等） 割れを考慮する 品質が安定しない 流通・納期
コンクリート 擬石	重量 型枠による成型のため形状変更が難しい 大量生産に向く 品質（色など）が安定する
木材	防虫・防腐処理によって耐久年数が変わる 組み方によって差異が出る（大工仕事ではない）
ガラス	用するガラスの種類検討（ガラスの種類を説明できるように） 小口は露出しないのが望ましい 飛散防止 交換できる構造
アクリル樹脂 （表示保護板）	紫外線による劣化・変色 温度による収縮・膨張（他部材との取り合い） 交換できる構造



サインの基礎知識

素材事典

逆引き事典

【情報形態】

■ **案内サイン**

- 誘導サイン
- 記名サイン
- 解説サイン
- 規制・注意サイン

【設置場所】

- 駅前
- まちなか
- 公園
- 施設
- 道路



逆引
辞典

サインの基礎知識

素材事典

逆引き事典

【情報形態】

■ **案内サイン**

- 誘導サイン
- 記名サイン
- 解説サイン
- 規制・注意サイン

【設置場所】

- 駅前
- まちなか
- 公園
- 施設
- 道路



逆引
辞典

【情報形態】

■ **案内サイン**

- 誘導サイン
- 記名サイン
- 解説サイン
- 規制・注意サイン

【設置場所】

- 駅前
- まちなか
- 公園
- 施設
- 道路



分類：地図案内サイン

●表示サイズ	836×1086
●製造メーカー	株式会社保安サプライ
●主材料	ステンレス
●副材料	
●表示板・保護板	アルミ板
●印刷方法	インクジェット
●その他	ケースタイプ 中の表示板は アクリル板（乳半）でLED内照式
●サインの特長	バスのりば案内 他にロータリー案内と 市内路線図も同タイプで設置

図面ダウンロード(PDF)

レイアウトダウンロード(PDF)



サインの基礎知識

素材事典

逆引き事典

【情報形態】

- 案内サイン
- 誘導サイン
- 記名サイン
- 解説サイン
- 規制・注意サイン

【設置場所】

- 駅前
- まちなか
- **公園**
- 施設
- 道路



逆引
辞典

サインの基礎知識

素材事典

逆引き事典

【情報形態】

- 案内サイン
- 誘導サイン
- 記名サイン
- 解説サイン
- 規制・注意サイン

【設置場所】

- 駅前
- まちなか
- **公園**
- 施設
- 道路



逆引
辞典

【情報形態】

- 案内サイン
- 誘導サイン
- 記名サイン
- 解説サイン
- 規制・注意サイン

【設置場所】

- 駅前
- まちなか
- **公園**
- 施設
- 道路



分類：地図案内サイン

●表示サイズ	1500×900
●製造メーカー	株式会社コトブキ
●主材料	アルミ押出型材
●副材料	アルミ鋳物
●表示板・保護板	アルミ板
●印刷方法	インクジェット
●その他	ソーラーパネル+LED投光器
●サインの特長	日比谷公園内の防災案内 停電時でも使用できるよう ソーラーパネルとLED投光器 を装備している。 日比谷公園のイメージに合う ようモダンクラシカルなデザイン を採用。

図面ダウンロード(PDF)

レイアウトダウンロード(PDF)



逆引
辞典

令和元年度の研究計画

今後のまちなかサインのあり方について



認定都市プランナー、有識者とのディスカッションから
今後のまちなかサインのあり方について考えていきます

- ・第一回 5月24日（金）認定都市プランナーとの意見交換会
- ・第二回 7月22日（月）日本デザインセンター 色部義昭氏をスピーカーとして開催予定
- ・第三回 9月5日（木）富山国際大学 助重雄久教授をスピーカーとして開催予定

令和元年度の研究計画

開催趣旨

多言語化を含めて、スマホ情報で相当部分がカバーできる状況下で、今後まちなかサインのあり方について考えた場合、そもそも必要なのか？ スマホやデジタルサイネージとの差別化・共存のためにはどの部分を担うべきか などを検討いたします。

このような背景・問題認識のもとで

まちなかの公共サイン（観光案内地図・案内表示など）について

①現在のまちなか公共サインの評価・課題

- ・こういうサインはもうダメ、サインの乱立が問題など
- ・まちなかなどでシンボル性や統一感のあるサインの実例は？
- ・サイン整備による具体の分かり易い効果などは？

②今後のサインのあり方

- ・スマホと連動するサインとは
- ・スマホと違うサインのメリット（存在価値）は？
- ・デジタルサイネージの可能性 など

令和元年度の研究計画

第一回認定都市プランナーとコミュニティサイン部会研究会

認定都市プランナーとの意見交換会

出席者

認定都市プランナー（専門分野「景観・都市デザイン」で登録されている方々です）

岩永敬造 株式会社日本設計

山下陽子 株式会社エックス都市研究所

吉岡博道 株式会社L A U公共施設研究所

コミュニティサイン部会（CS部会）

浜中辰也 積水樹脂株式会社

岩船傑 株式会社保安サプライ

賀須井久悦 株式会社コトブキ

都市づくりパブリックデザインセンター

木下瑞夫 代表理事

宮沢功 理事

古木岳美 理事